

ケニヤ便り

コイノニアの新しい場所？ お祈り下さい。

コイノニア・教育センターを始めて8年が終わろうとしています。4歳で入学してきた子どもたちが6年生を終了します。

1軒家を借りて16人の子どもたちで始めましたが、今年は82名の子どもたちと15人のスタッフが同じ敷地で過ごしています。この状況では学校としての認可を受けることも難しく、人数も増えてパンク状態にあります。しかも今年1月から家賃がこれまでの倍に値上がりしました。

数年前から新しい土地を探し続けています。これまで、幾つの土地を見て、何人のオーナーとはなしてきたでしょうか。学校として使うならば売りたい、貸したくないと言われ、土地が見つかったても、実際にお金が無かった為に交渉できなかったこともありました。とにかく募金から始めなければと始めたものの、購入希望の土地が無いのに募金をするのはおかしい、とも言われたりしました。始めは借りて数年の間に購入すると交渉をしたこともあります。しかし、これまで全ての道が閉ざされてきました。ナイロビの土地が高騰し、建築ラッシュが続いています。ナイロビ市内のキバガレ・スラムの近くの土地はもう私たちの手には届かない価格になってしまいました。

そこでナイロビ市内ではなく、少し郊外へ目を向け始めました。バスを買って子どもたちを運んでいける範囲まで視野を広げました。ナイロビから北西に20キロほどの地域をいろいろと見ました。候補は上がってもなかなか進展しませんでした。

1ヶ月前、娘のハンナが彼女の友達が引越してた話をしました。その友達の新しい家の大家はキミンギさんという私たちの昔からの友達でした。思い出したのです。キミンギさんは私たちが候補と考えている地域に大きな土地を持っている人だということ。早速彼に会い、私たちの計画を話し助けてもらえないかと話しました。彼は「自分の土地は今売れないが、自分の父が土地を寄付して建てられた教会が、15年前に附属事業をするために建てたホールがあるが、全く使われていないからそこをあたってはどうか」とアドバイスしてくれました。この教会は彼の農場の隣にありました。教会の役員の連絡先も教えてくれたので、早速連絡し、翌日に教会の牧師先生と役員の人たちと会うことができました。

建物はコイノニアの活動にぴったりでした。誰も使っていないために、ほこりとくもの巣だらけでしたが、立派な建物です。この教会もコイノニアのような働きをするつもりで建てたそうですが、教会に実際に活動をする力が無くそのままにされているようでした。

交渉を続け、現在キバガレ・ウェーの家に払っている10万シリングより安く1ヶ月、9万シリングで5年間の契約で借りることが決まりました。現在のコイノニアから23キロ、車で30分のところ。

これまで何度も道が閉ざされましたが、コイノニアは神さまの始められた業ですから必ず最も良い道が開かれると信じて決してあきらめずにきました。

借家ですが、建坪はこれまでの3倍以上あると思います。これからの発展性や可能性が大きいです。

今年度が1月3日に終わります。まずは大掃除から初めて、引越です。スタッフたちは「出エジプトだ」「みんなで紅海を渡ろう」と興奮状態です。

子どもたちを運ぶバスもまだありません。しかし、私たちは進み始めました。神様が昼は雲の柱、夜は火の柱によって私たちの進むべき道を示してくださると信じています。1ヶ月前には新しい場所を借りる家賃や敷金、引越のお金もまったくありませんでしたが、不思議な形でお金が集まってきています。家賃は払える状態になりました。

神様が導き出してくださる、コイノニアの出エジプト、約束の地への旅が始まりました。どうぞ祈りに覚えて、私たちの旅を見守ってください。



市橋

2010年11月